

れいわ ねん がつ にち か ぞうかん
令和8年8月25日(火)増刊15798号

まいしゅうか よう びはつこう
毎週火曜日発行

しょうわ ねん がつ にち だいさんしゅうゆうびんぶつしょうにん
昭和54年8月1日 第三種郵便物承認

はつこうじょ どうかいしんたいしょうがいしゃだんたい いきかんこうぶつきょうかい
発行所 東海身体障害者団体定期刊行物協会

なごやし なか ない ていか ぶ えん
名古屋市中区みこころセンター内 定価1部100円

インクルーシブな社会を目指し、自立を支援します

ユートピア



A J U

～310号～

(ここに帯布をあわせてね！)

(帯布あわせ位置)

もくじ 目次

- ジルぜんこく けんしゅうほうこく
・ JIL全国セミナー研修報告・・・1
- ジルぜんこく けんしゅう かんそう
・ JIL全国セミナー研修 感想・・・2
- ・ いろいろだより・・・3
- みずほ こんだんかい ほうこく
・ パロマ瑞穂スタジアム懇談会 報告
きょういくぶかい こんだんかい ほうこく
・ 教育部会懇談会 報告・・・4
- しょうがいしゃじんけん ほうこく
・ おきなわ障害者人権センターセミナー 報告
しんしよくいんしょうかい
・ 新職員紹介・・・5
- ・ つむにっき・・・6
- ・ キャブ通信・・・7
- がふ がつ かつどうほうこく
・ 6月、7月の活動報告・・・8
- かいひ きふ おれい こ
・ 会費・寄付のお礼／子どもフォーラム
つぶやき・・・9

編集責任者

とくてい ひ えい り かつどうほうじん わかみや
特定非営利活動法人ユートピア若宮

〒471-0871 とよた しもとみやちょう ちょうめ ばんち
豊田市元宮町6丁目19番地

[電話] (0565)31-1117

[メール] wakamiya@utopia-wakamiya.com

[ホームページ]

<https://utopia-wakamiya.jimdofree.com/>

ユートピア若宮のホームページ

ユートピア若宮

検索

ユートピア若宮のフェイスブックページ

ユートピア若宮facebook

検索

ジルぜんこくさんか JIL全国セミナーに参加しました

6月17日(水)～6月19日(金)に全国自立生活センター(JIL)主催の全国セミナーが仙台国際センターで行われました。十彩から木本、中野、黒柳が現地から、大富、神谷、高田がZOOMで参加しました。その様子を報告いたします。

1日目は、視覚障害者の日常生活での困りごと・アメリカ研修報告などのコマがありました。普段あまり聞くことのできない内容でいろんなことが勉強になりました。特に、視覚障害の方に伝える時は、分かりやすい言葉で伝える(例:どの方向に何があるかなど)ことが大事だと感じました。

1日目の夜には、現地にいる中部ブロックのセンターが集まり、食事をしながら交流会を行いました。お互いのセンターのことを話し、情報交換できてとてもいい時間となりました。今年度も中部ブロックの研修があります。みんなで協力して中部地方を盛り上げていきたいと思っています。

2日目は、脱施設に関すること、社会モデルの伝え方についてなどのコマがありました。

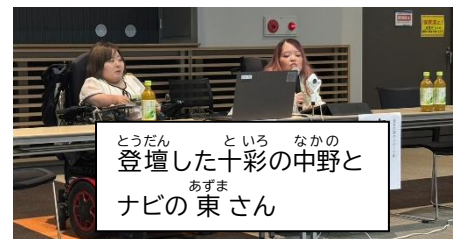
僕が特に印象に残ったコマは、社会モデルの伝え方についてです。

十彩の中野、CILナビの東さんから福祉実践教室の講話の仕方を学びました。お二人の話聞いて、小学生に話す時は、短く・分かりやすい言葉で伝える、写真やイラストを使って伝える、みんなに聞いてもらえるように質問やクイズ形式にしてコミュニケーションをするなど参考になることがたくさんありました。僕も福祉実践教室によく行くことがあるので、これから自分の講話に活かしていきたいと思っています。

2日目の夜は、CIL星空の方と仙台名物牛タンを食べながら、いろいろな話できてよかったです。牛タンがとてもおいしかったです。

3日目は、総会が行われました。JILや各ブロックの活動・予算報告や今年度の活動案の方針説明が行われました。僕もこれからも中部ブロックを盛り上げていきたいです。

研修で学んだことをこれからの活動に活かしていきたいと思っています。(黒柳)



JIL 全国セミナーの感想



ここではオンライン参加をしたスタッフより、2名の感想を掲載します。

私の印象に残ったコマは「脱施設ロードマップ初公開～現場の声で描く、地域で生きるロードマップへ」です。印象に残ったことは二つあります。

一つ目は中山さんの3つのやまゆり園を見学した話です。神奈川のやまゆり園の行動障害の方の部屋は浴室に扉がないことや部屋の外から鍵をかけられるのを聞いて「精神科の隔離室だ。」と思ったことももちろん印象強いですが、中山さんが園長に「施設はなくなって欲しいです。」と言ったのに対し、園長は「利用者さんにはここでずっと幸せに暮らして欲しい」と言ったことが印象深く残っています。一番分かってあげないといけない立場なのになにも分かっていないなって。施設が一番いいという考え方には、あんなおぞましい事件や数多くの虐待の事案があったのにそれでも幸せは施設に在ることと決めつけるのかと。やっぱり地域で障害者は自立して暮らしていけると世の中に周知しないといけないと思いました。

二つ目は自立生活センターイルカさんが報告してくれた行動障害がある方が地域で一人暮らしをしている事例報告です。自分の価値観が変わった報告でした。前職でも行動障害のある方の地域移行は課題でした。グループホームを見つけるために先輩たちが尽力していたのを見て、勝手にグループホームか施設が行動障害のある方の行き先だと思い込んでいました。だから事例を聞いて行動障害のある方でも支援者の関わり方で一人暮らしが可能と聞いたことは目から鱗でした。

全ての講義が魅力的で、全て感想を書きたいですが一つのコマで私の中で社会に対する不満感や、私も社会と同じで固定概念に捉われていたと再確認できた点からこのコマを選びました。（高田）

今回も様々なお話を伺い、多くの学びを得ることができました。中でも特に印象に残ったのは、1日目の「アメリカ研修報告」です。登壇者の八木さんから、アメリカへ行くまでの経緯や研修中のエピソード、そこで感じた思いを共有していただきました。その中で制度の壁や、声を上げることの大切さなどを考える機会となりました。

まずアメリカへ行くまでの過程では、海外と日本をまたぐ制度利用の難しさや、日本国内においても国の方針や判断によって左右されてしまうことがあると知りました。今回の八木さんの経験が前例となったとお話がありましたが、これで終わってしまうと意味はないので、この経験が全国に広がり、誰もが挑戦しやすい環境になっていくことが大切だと思います。

また、アメリカにてメディケイド削減への抗議マーチに参加されたお話では、地域で生活する権利が簡単にひっくり返されてしまうこと、それは日本でも起こりうるということのお話が印象的でした。今ある制度は決して当たり前ではなく、様々な人々が勝ち取ってきたものというのを改めて感じるとともに、自立生活センターとしての役割を意識しながら、今、そしてこれからの生活を守るために何ができるのかを考えていく必要があると感じました。（大當）



第7回ごちゃまぜ運動会 参加者大募集！！

最近では、「インクルーシブ」という言葉もだんだんと身近になってきたように感じます。
 地域には、障害のある人、外国籍の人、大人、子どもなどいろいろな人が暮らしています。十彩ではそんな様々な人たちが過ごしやすい、ごちゃまぜな社会を目指して活動しています。
 その活動の一つとして、今年も「ごちゃまぜ運動会」を開催します！！障害の有無や年齢に関係なく、みんなで楽しむごちゃまぜな運動会を通して、一緒に「インクルーシブ社会」について考えてみませんか？詳細は下記の通りです。ご参加お待ちしております！

- 【開催日時】2026年11月7日（土）13時30分～15時30分 ※受付は13時～
 【場 所】住友ゴム工業株式会社名古屋工場 ※敷地内に駐車場あり
 （住所：豊田市新生町4丁目1）
 【対象者】小学生・中学生（きょうだいの場合、小学生以下も参加可能）
 ※障害の有無は問いません



- 【定 員】20名
 【参加費】500円 ※保険代等含まれます（きょうだいでの参加は、二人目以降は一人100円）
 【服装】動きやすい服装、靴
 【持ち物】水分・タオル・その他必要なもの
 【申込締切】2026年10月9日（金）
 【申込方法】電話（0565-31-1117）・メール（toiro@utopia-wakamiya.com）・グーグルフォーム
 【プログラム】

- 13:00～ 受付
 13:30～ 開会式
 14:00～ 競技①
 競技②
 休憩
 競技③
 15:15～ 閉会式
 15:30 終了



- 【主催】自立生活センター十彩
 【協力】住友ゴム工業株式会社名古屋工場／ユートピア若宮
 【後援】豊田市／豊田市教育委員会／豊田市社会福祉協議会／豊田市福祉事業団

ごちゃまぜ運動会についてのお問い合わせは、事務局までメールまたは電話にてご連絡ください

みずほ
パロマ瑞穂スタジアム懇談会こんだんかい
報告たんとう くらやなぎ
担当: 黒柳

6月24日(水)に愛知県重度障害者団体連絡協議会(愛重連)とパロマ瑞穂スタジアム建設計画に関わった名古屋市との懇談会へ、十彩から中野と黒柳が出席させていただきました。その様子を少し報告します。

名古屋市からは、広沢名古屋市長をはじめ、近々行われるアジア競技大会・アジアパラ競技大会の関係者にも出席いただきました。

愛重連からは、障害当事者の意見を取り入れたスタジアム建設のお礼と4月に愛重連メンバーでこけら落とし試合を見た時に気づいた、柱があり隣同士での試合観戦が難しい、観客席への動線(案内)が分かりづらい、スタッフ・ボランティアへの研修などの要望をお伝えさせていただきました。

広沢市長からは、これからもいろいろな意見を聞いて、スタジアムをブラッシュアップしていきたいというお言葉をいただきました。

懇談会の最初に、広沢市長へ愛重連会長でもある中野から、パロマ瑞穂スタジアムを見学した報告書と要望書を提出しました。

これから、瑞穂陸上競技場西駅の新しいエレベーターが使用開始になり、来月からはアジア競技大会・アジアパラ競技大会が始まります。これからもいろいろな視点で意見を伝えていきたいと思えます。

あいちけんきょういくいいんかい
愛知県教育委員会と懇談してきました！！たんとう たかた
担当 高田

7月1日に愛重連として、愛知県教育委員会との懇談会に十彩から中野・高田が参加しました。

「エレベーター設置計画を作ってほしい」という要望を軸に話し合いが行われました。

公立高校にエレベーターがない＝エレベーターを必要としている生徒が入学できないということで、それにより大学への進学率が低下する。愛知県は教育委員会の障害者雇用率が低いことを課題としています。どうでしょうか？公立高校にエレベーターがついてないことと愛知県の教育委員会の障害者雇用率が低いことは関連していると思いませんか？公立高校にエレベーターがつくということは、インクルーシブ教育が進むことだけではなく、愛知県が抱えている問題も解消できるのではないのでしょうか？

愛知県教育委員会との懇談会の中で「県立高校へのエレベーター設置は必要と考えていて、検討しています」と回答してくれましたが、エレベーター設置計画はいつ作るか、どうして行けばエレベーター設置は進んでいくのか等の具体的な回答はありませんでした。

高校にエレベーターがないことを理由に行きたい高校に進学できない、エレベーターがある高校しか選択肢にはない。「高校を自由に選ぶ」という当たり前のことすら保障されていない。そのようなことは許してはいけません。誰もがエレベーターの有無、障害の有無で高校を選ぶのではなく、自由に行きたい学校を選べるようになってほしいですね。

私たちはこれからも学校施設バリアフリー化を訴えていきます。

おきなわ障害者人権センターセミナー「精神科病院の「収容所性」を考える」に参加しました！！

7月25日に行われたおきなわ障害者人権センターさんが主催した「精神科病院の収容所性を考える」という講座にオンラインで高田が参加しました。前半はオリブ山病 院の横田医師の講話、後半はパネルディスカッションを聞かせてもらいました。パネラーさんたちは精神科入院や長期入院を経験された方もいらっしゃったのでとても言葉が重く感じました。

講座の中で印象に残っていることはパネルディスカッションでパネラーの方が何度も言われていたピアの大切さです。精神科病院に訪れた際にピアサポーターの話 を聞いて、長期入院していた方が初めて自分から「退院したい」と言ったことがあったそうです。私は長期入院の問題を解消したいと思って精神科に携わっていたこともあります。そのお話を聞いて、ハッとさせられました。精神科に携わっていた頃は病院内だけの力では長期入院者の地域移行に限度があると痛感していたのに、なぜかそのお話を聞いてびっくりしていました。「ピアサポーターの一声で長期入院患者が一人減った」ということに感動しました。それと同時に精神科の中にいなくても、長期入院の課題に関わることをできるんだと実感して嬉しくなりました。

そして講義を聞いていて、学生時代に私に投げられた言葉を思い出しました。「命と人権どちらが大事か」という質問です。私は今もその答えを出せないでいます。きっとこれからもこの答えを明確に出せないと思います。これから障害当事者として、持っている資格である社会福祉士・精神保健福祉士としての視点も活かしつつ人権問題に向き合って、自分なりの答えを探していけたらいいなと思います。



新職員 自己紹介



8月から自立生活センター十彩に入社しました、佐々木毬衣と申します。前職はエステティシャンとして技術者・カウンセラーをしていました。全く異なる業種ではありますが、相手を理解し誰もが自分らしく安心して暮らしてゆける社会を作る一員になりたいと思っています。

介護予防エステティックの一環として、介護初任者研修の経験があり、ヘルパーとしてもお世話になります。よろしくお願いします。

性格は優柔不断で外食へ行くと何を食べようかと迷ってつかれてしまいます。

好きな時間はハンモックに乗っているときで、休日は大体ハンモックの上です。人は浮いているといらいできないかもしれないと最近考えています。

好きな食べ物は、白子・生牡蠣・あん肝です。めかぶも好きです。お酒は焼酎とワインを少し飲みます。痛風を危惧しています。

音楽はブルーハーツが好きです。お風呂で歌って踊っています。

今年の目標はバッティングセンターでホームランを打つことです。そういうストレス発散の方法に憧れます。

将来の夢は海女さんです。自給自足をして静かに豊かに暮らしたいです。

いろいろご迷惑をおかけするかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

つむにっき

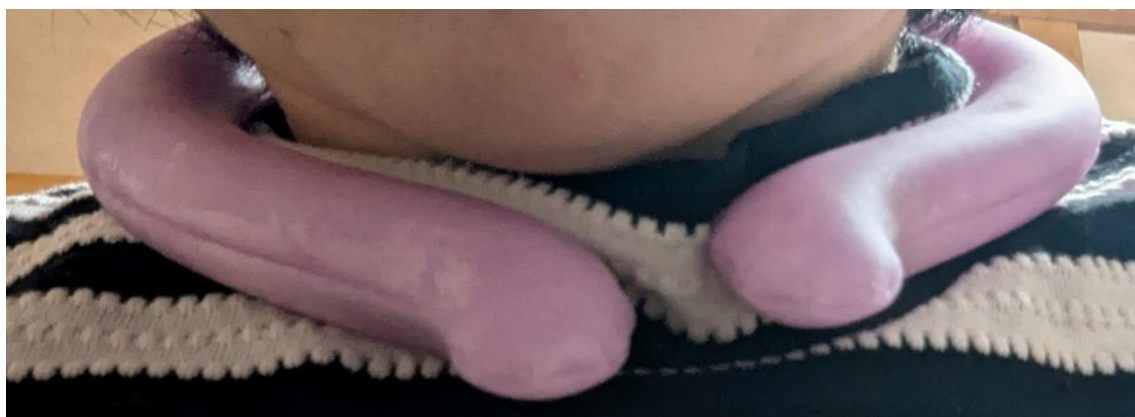
こんにちは。福島優梨です。皆さん、暑い季節がやってきましたが、いかがお過ごしでしょうか？これを書いているのが7月。これからさらに、暑くなることを考えると、気が遠くなりそうです。

夏といえば、冷たい食べ物！思い浮かぶものは…ざる蕎麦やそうめん、冷やし中華など、夏バテのときにも、美味しく食べられるものが大活躍しますよね。私は、かなり食べ物の好き嫌いが激しいタイプで、甘いものや辛いもの、生ものが苦手です。かき氷やアイスクリームを楽しみにしている方も多いと思うのですが、私は、冷やした野菜スティックを1本そのまま食べたり、サラダを食べたりするのが好きです。ドレッシングや塩をかけずに、素材の味を楽しむ時間が幸せです。最近では、冷や奴も薬味や醤油を使わずに食べています。とっても美味しいです。自分でもちょっと変わった好みなのかもしれないと感じています。何かおすすめの食べ物があれば、教えてください。

暑さ対策は、食べ物だけではなく、エアコンや扇風機、保冷剤や熱さまシートなど、様々なものを使って、体温調節をしています。私が今、1番使っているのがピンクのクールネックリングです。28℃以下で凍ります。冷蔵庫に入れて冷やしておくと、さらに冷たくて気持ちいいですよ。私は、車いすに座っているので、背中や、お尻部分に熱がこもってしまって、自分でも気付かないうちに、大量の汗をかいて服が濡れていることがあります。クッションに身体が密着していないと、姿勢が崩れて辛いし、身体が密着していると汗をかくし、どちらも辛いです。皆さんは、どんな対策をされていますか？

暑い夏も楽しく穏やかに過ごせることを願って、次回のつむにっきもお楽しみに。

私のクールネックリング



ハンディキャブ通信



～ AI と思考実験「中国語の部屋」～

職場では業務効率化のための AI 研修 が始まりました。ところで、皆さんは「中国語の部屋」という思考実験をご存知でしょうか。1980年に哲学者ジョン・サールが提唱した思考実験で、「コンピューターは本当に言葉を理解しているのか」という問いを考えるためのものです。

思考実験は以下のようなものです。中国語がまったく分からない人が部屋の中にいます。その部屋には、中国語の文字の組み合わせごとに、どの文字を返せばよいか細かく書かれた分厚いマニュアルがあります。部屋の外から中国語の質問が入ってくると、その人は意味を理解しないまま、マニュアルの指示どおりに文字を選び、返事を書いて外へ渡します。外の中国語話者から見ると、返答は自然で正確なので、「部屋の中の人是中国語を理解している」と思われます。しかし実際には、その人は中国語の意味を一切理解しておらず、単に決められたルールに従って記号を処理しているだけです。

サールは、この状況はコンピューターにも当てはまるのではないかと考えました。コンピューターは入力された情報を処理し、適切な答えを返すことができます。しかし、それは言葉の意味を理解しているのではなく、プログラムや学習した規則に基づいて記号を処理しているだけではないか、というのが「中国語の部屋」の主張です。

一方、この考えには反論もあります。部屋の中の人を理解していなくても、人・マニュアル・部屋全体を一つのシステムとして考えれば、そのシステム全体が中国語を理解していると言えるのではないかという考え方などは代表的な反論です。そのため、この問題には現在でも明確な結論はありません。

近年ではChatGPTのような生成AIが人間と自然な会話を行えるようになり、「人間らしく振る舞えること」と「本当に理解していること」は同じなのかという議論が再び注目されています。「中国語の部屋」は、AIの能力だけでなく、人間にとって「理解する」とは何かを考えるきっかけを与える、現代でも非常に重要な思考実験となっています。

…あ、上記の文章自体もAIに作ってもらいました。研修の成果は出ているようです(笑)。

～6月・7月の運転・レクチャーありがとう～

青木 創太	池松 信司	今枝 崇	井村 和郎	宇野 和男	浦口 尊史
大川 達大	大久保 直幸	加藤 弘己	金谷 憲一	金田 歳竜	北野 正紀
木下 恵太	畔柳 稔	齊藤 和美	志垣 亮二	鈴木 淳	鈴木 雅之
鈴木 幸雄	武田 勝利	豊福 邦彦	豊福 晃司	信定 佳孝	早川 英樹
浜口 貴之	濱本 達	平野 勝久	前 繁則	前田 祐輔	松井 宣明
松嶋 和宏	水野 博規				

【順不同 敬称は略しております】

6月・7月 活動記録

※【Z】表記=ZOOM

ユートピア

〈6月〉

13日：市民福祉大学公開講座 16日：SDM-J 理事会【Z】 21日：ユートピア若宮理事会
 22日：輪音評議委員会 25日：鶴ヶ島ケース検討【Z】、豊田市事業団評議委員会
 30日：津別ケース検討【Z】

〈7月〉

1日：津別町当事者養成研修（～3日） 17日・30日：意思決定支援全体委員会（文京区）
 21日：SDM-J 理事会 22日：愛知県自立支援協議会全体会 28日：津別ケース検討【Z】
 31日：地域福祉活動推進委員会、地域福祉活動推進委員会合同会議、鶴ヶ島フォロー面談【Z】

〈随時〉

リスニング研修【Z】／当事者ワーキンググループ【Z】／市民福祉大学



〈6月〉

2日：愛重連三役会議【Z】 12日：当事者WG【Z】
 15日：愛教大附属特別支援学校×自立生活センターコラボワークショップ打ち合わせ【Z】
 17日：JIL 全国セミナー（仙台国際センター、Zoom）（～18日）
 19日：JIL 総会（仙台国際センター、Zoom） 20日：ピアカンのつどい（半田）
 23日：JR 株主総会出席、住友ゴム CSR 基金贈呈式
 24日：名古屋市長との懇談（パロマ瑞穂スタジアム要望書）

〈7月〉

1日：愛重連教育部会愛知県教育委員会との懇談 2日：北陵中学校打ち合わせ【Z】
 11日：イエローシート店頭活動 16日：愛知県障害者施策審議会
 18日：グラデーション 21日：実践教室講師研修会打ち合わせ
 22日：新職員研修（DET） 25日：ごちゃまぜ運動会ジュニアサポーター講座、沖縄障害者人権センター
 「精神科病院における収容性について」【Z】
 27日：ルネサンス高校見学受け入れ
 28日：岡崎自立生活センターぴあはうす訪問、自立生活センターアクセル訪問
 31日：朝日新聞取材、岡崎自立生活センターぴあはうす見学受け入れ
 〈随時〉
 JIL 常任委員会【Z】／JIL あり方検討会【Z】／JIL 常任委員会司会進行会議【Z】／JIL 中部ブロックユース【Z】
 ／JIL インクルーシブ教育PT【Z】／愛重連交通部会【Z】／愛重連教育部会【Z】／愛重連役員会／
 愛重連事務局会議【Z】／ピアカカウンセリング集中講座（知多）／福祉実践教室（計7校）

十と
彩いろ

キャブ

〈6月〉

13日：福祉車両体験会 14日：パラスポーツフェスタ参加

〈7月〉

26日：運転協力者講習会

〈6月〉

18日・22日：強度行動障害支援者養成研修（実践）

〈7月〉

28日：相談支援専門員現任研修受講
 30日・31日：高次脳基礎研修受講（基礎）

さくら



ねんどかいひのうにゅう
2026年度会費納入ありがとうございました

(8月14日現在) 敬称は略させていただきます

伊藤順子

田中美千子

桂川裕史

けんり
とよたこどもの権利フォーラム 2026

ことし かいさいけつてい
今年も開催決定！！

日時：11月8日（日） 9：30～16：00

会場：豊田産業文化センター

詳しくは、事務所にチラシがあります！興味のある方は、ご連絡下さい。

今年は、

- ①子どもの権利の普及
- ②マッチング・意見交換の場
- ③子どもの意見表明の場

を目的として、再度実行委員が共通認識をもってスタートしました。昨年同様、学びの場では2名の講師からお話を聞かせてもらいます。

今年の十彩は、「〇〇の視点で世界を見たら」という特別企画（車いす体験）で権利を伝えられたらと考えています。昨年大好評の子ども企画も、お楽しみに！！



「ぶうこのつぶやき」

皆さん、こんにちは。

夏の本番でもありますが、寒暖差があるので身体がついていけない時に私はこの夏はカゼなどを引いてしまいました。

また色々なことが世界中で起きていますね。特に先日も熊本県でまたすごい地震などありましたね。たいへんな夏の暑さで身体がついていけない上に、断水でたいへんだと思います。被害者の方々にお見舞い申し上げます。

身体などに気を付けて良い一日を大切に過ごしましょうね～